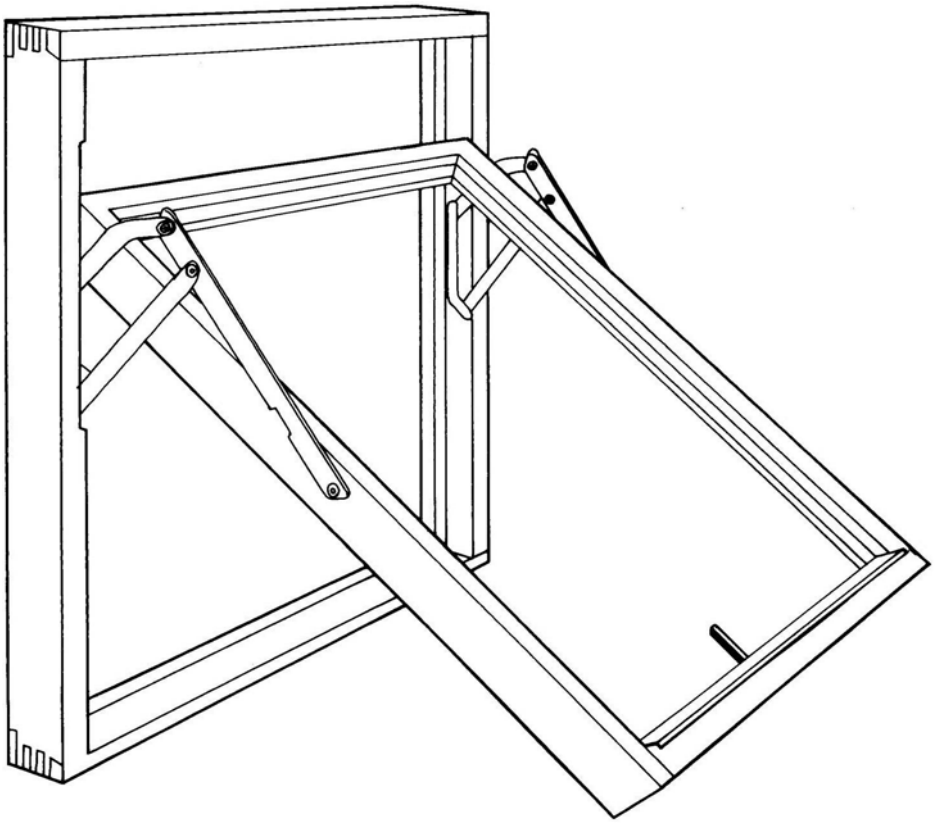
レノホンダフォンスター

Lenhovda Fönster

取扱説明書（施工会社様向け）

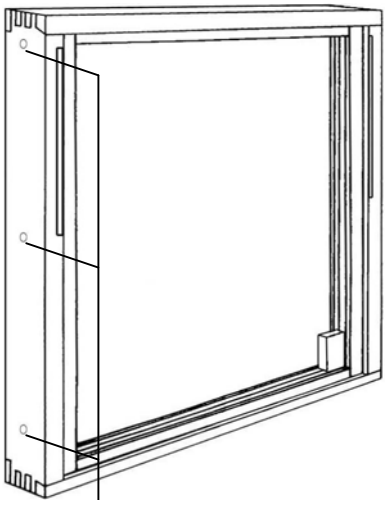


◆ 付属･別途準備部品及び回転窓操作方法 ― P.1
◆ 施工要領 ―――――――――――――― P.2
◆ ガラス破損時の交換方法 ―――――――― P.7
◆ 障子破損時の交換方法 ―――――――― P.8

付属部品及び別途準備部材･工具

●本製品には、窓本体以外に下図の付属部品、別途準備部材･工具があります。

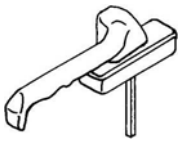
●施工にあたり、専用部品の必要数を確認して下さい。



フレームスクリュー
（あらかじめ枠に取付済み）

●付属備品

●ハンドル



●ハンドル取付ビス
（2 本） 4×50mm

●ホールキャップ
（4～10 個）

●取付用ビス

●窓本体取付ビス

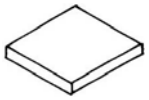
5x50mm

●別途準備部材･工具

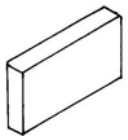
●電動ドライバー

●10mm レンチ

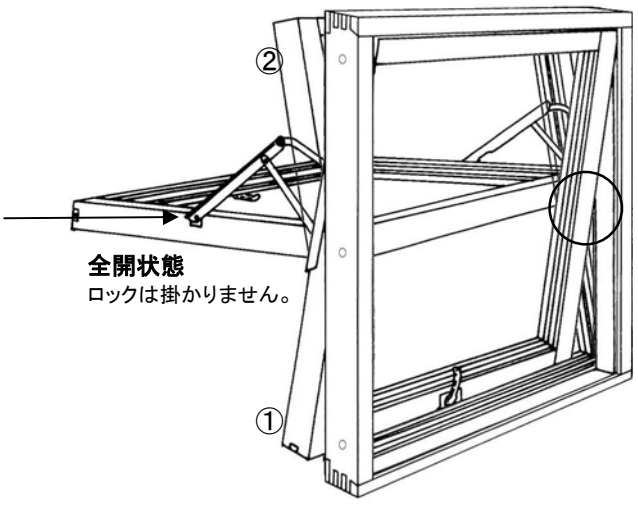
●スペーサー(2 個)
90×90×8～12mm
※木片で可



●倒れ止め部材(1 個)
※木片で可



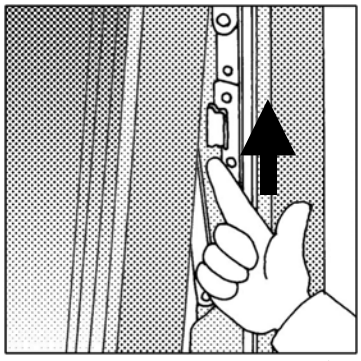
回転窓操作方法概要



全開状態
ロックは掛かりません。

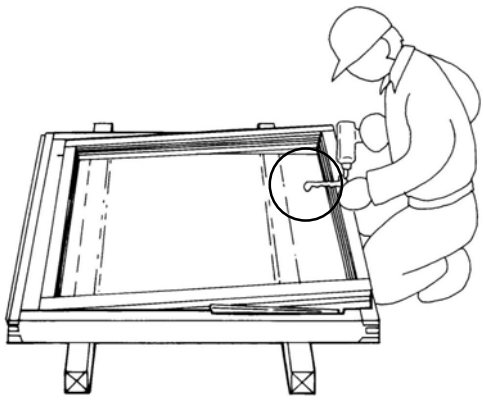
●横軸回転窓(LFH)タイプの場合、左図のような障子部の滑り出し回転による開閉となります。

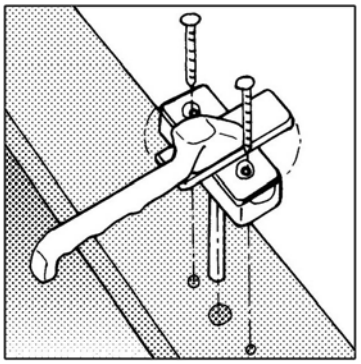
●詳細は取扱説明書(オーナー様向け)を参照下さい。



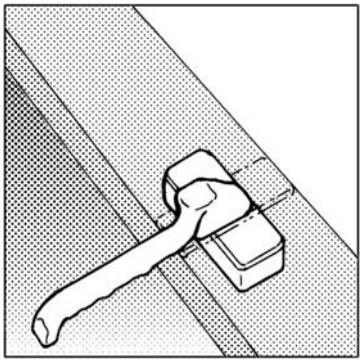
※左図の①②位置まで窓を開けますと、それぞれ自動的にチャイルドロック(安全ストッパー)により、それ以上窓が開かなくなります。ロックは上図のようにチャイルドロックを押し上げることにより解除されます。

1.ハンドルの取り付け





※ハンドル基部のアルミカバーをつまんで90°回転させ、付属のビスで止めます。



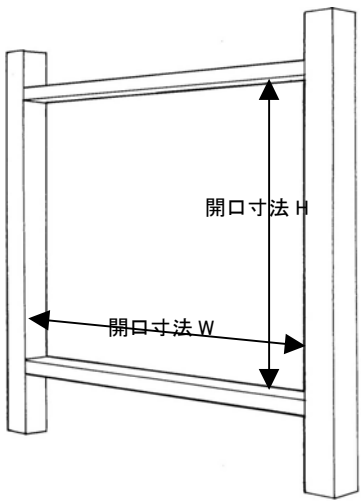
※アルミカバーは 90°回転させ、元に戻します。ハンドル操作の確認をして下さい。

●木製窓の取付施工前に、まずハンドルの取付を行います。

●ハンドルの取付を行う場合、ハンドルを障子に差込んで窓を開け、上図のように障子を反転させた状態で行ってください。

●窓サイズが大きいものは重量があるため、必ず2人以上で作業を行ってください。

2.躯体開口部の確認



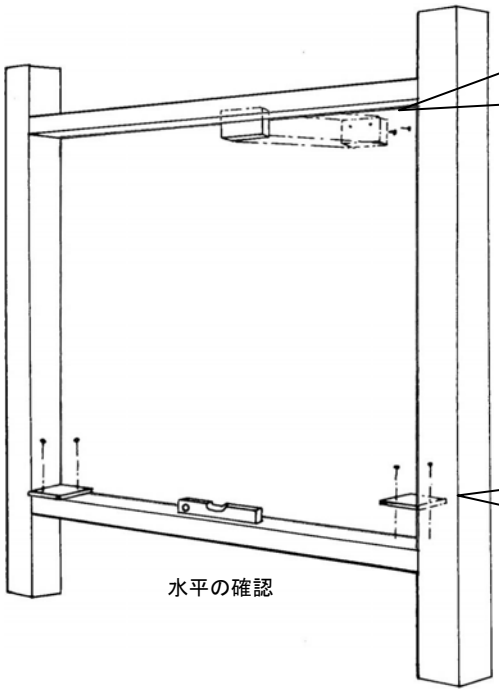
●木製窓を取り付ける躯体の開口部サイズを確認して下さい。

●木製窓実寸と、開口寸法は下表の通りです。
下記サイズ以外のフレーム寸法＝ラフ開口寸法－20mm

呼びサイズ	枠外実寸法(W×H)	ラフ開口寸法(W×H)
LFH6/6	580x580	600x600
LFH6/12	580x1180	600x1200
LFH8/12	780x1180	800x1200
LFH12/6	1180x580	1200x600
LFH12/12	1180x1180	1200x1200
LDF8/21-13	780x2080	800x2100
LDF2 15/21-21	1480x2080	1500x2100

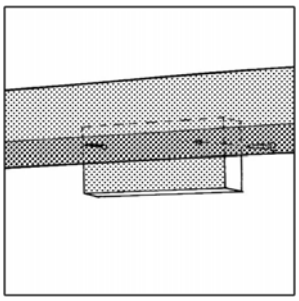
3.水平確認、スペーサー･仮止めプレートの取り付け

●開口下部の水平を確認し、スペーサー･倒れ止め部材を取り付けます。



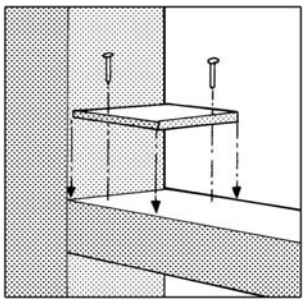
水平の確認

倒れ止め部材取付詳細



※開口上部外側に、窓設置時の倒れ止め用部材(外側への落下防止が目的、木片などで可)を釘止めします。

スペーサー取付詳細



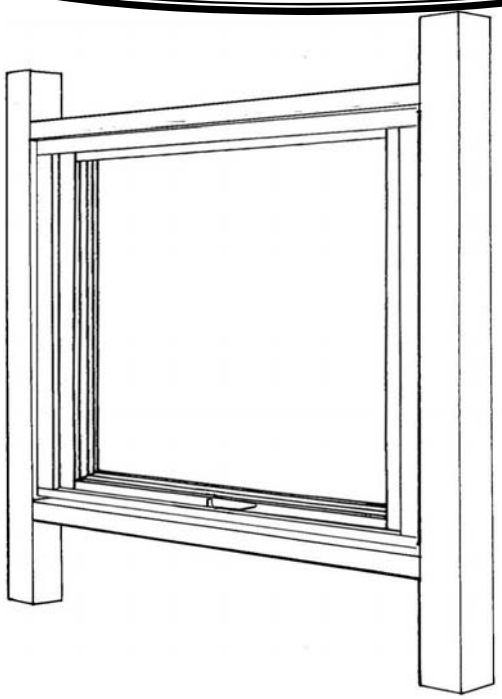
※開口部の両サイドに 90×90mm 角、厚さ 8～12mm のスペーサーを釘で固定します。

4.木製窓の設置

●木製窓を開口部に設置します。

●窓サイズが大きいものは、重量がありますので必ず２人以上で作業を行ってください。

5.位置決め

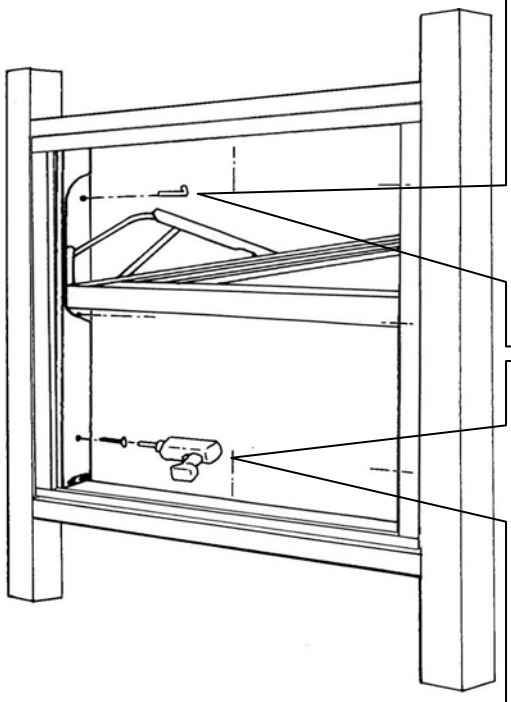


●木製窓と開口部の左右隙間の割り振りと、前後出入りを決定します。
(左右隙間は約 10mm ずつが基本納まりです。)

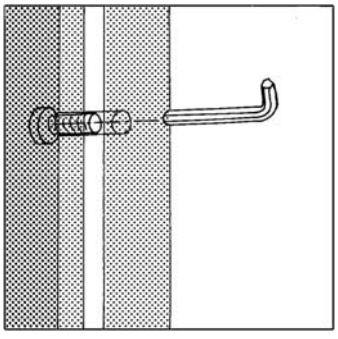
＊前後の出入りはお客様毎に納め方が違いますので、現場担当者にご確認ください。

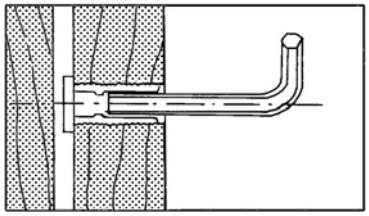
6.フレームスクリュー締めと、ビスの仮止め

●フレームスクリューはあらかじめ枠に取り付けてあります。
●木製窓の仮止めを行います。上･左右の枠部のフレームスクリューを締めビスの仮止めを行います。
●作業は窓を開けた状態で行いますので、手などを挟まぬようご注意下さい。



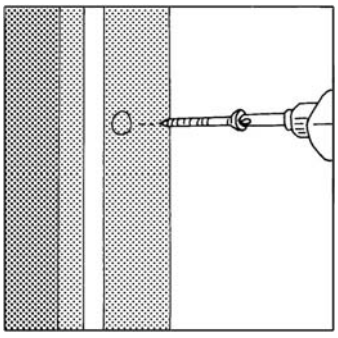
フレームスクリュー締め

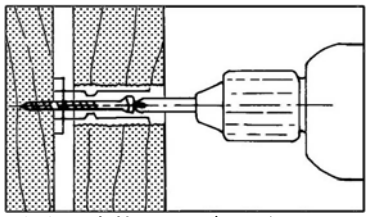




※フレームスクリューを 10mm レンチで躯体に当たるまで押し出します。

ビスの仮止め(左右のみ)

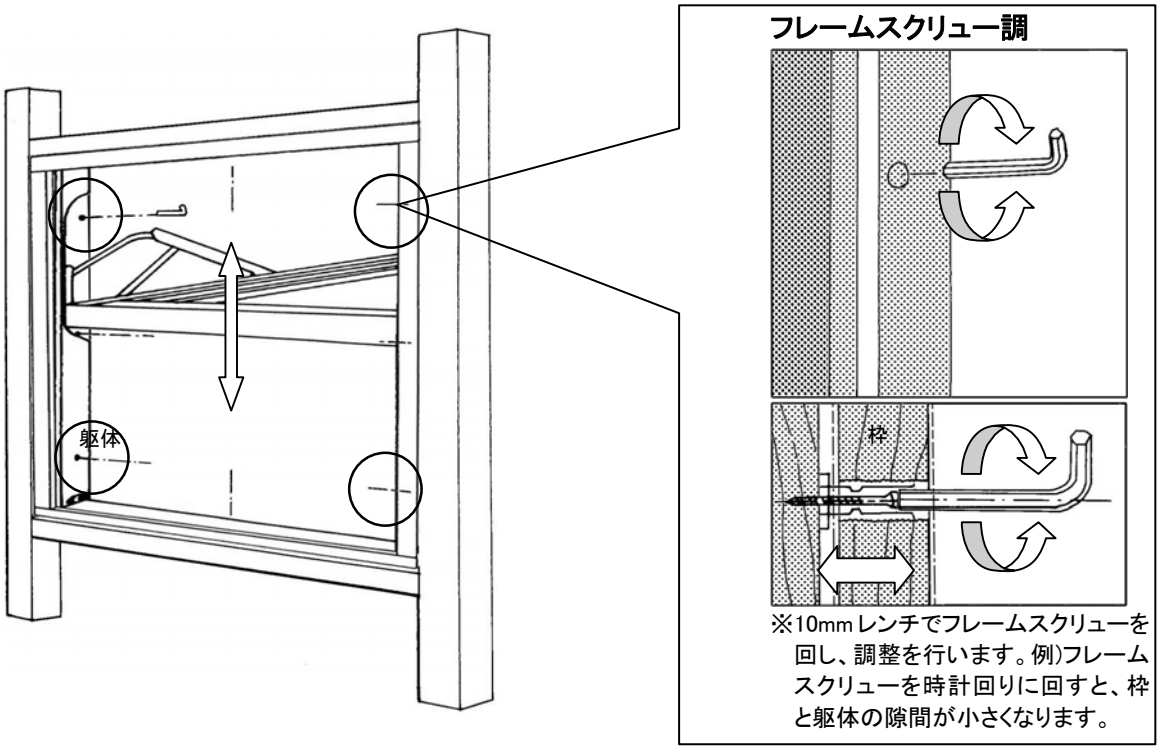




※左右の窓枠のみ、ビスで仮止めします。後でフレームスクリューの調整をしますので、ビスを締めきらないようご注意下さい。

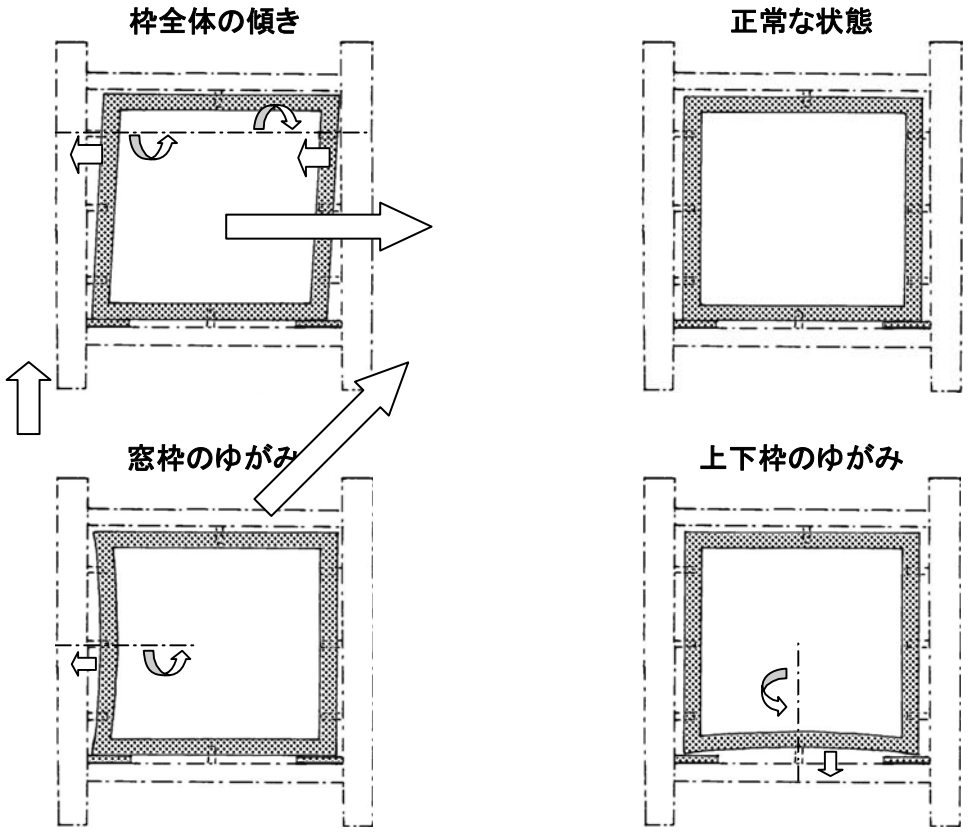
7.開閉調整

●仮止めの後、窓の実際にサッシを動かし開閉･回転がスムーズに行われるよう、窓個別のゆがみや全体の水平･対角を調整し、開閉に必要な精度を確保します。



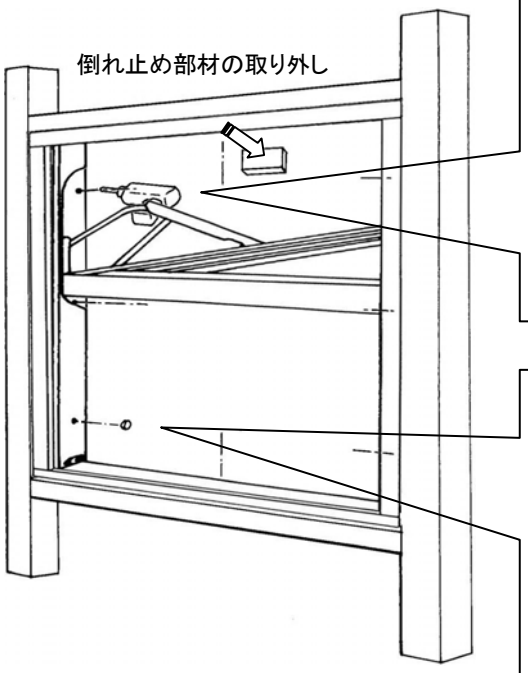
※10mmレンチでフレームスクリューを回し、調整を行います。例)フレームスクリューを時計回りに回すと、枠と躯体の隙間が小さくなります。

●窓のゆがみなどの例とフレームスクリューの調整方法は下図を参考にして下さい。

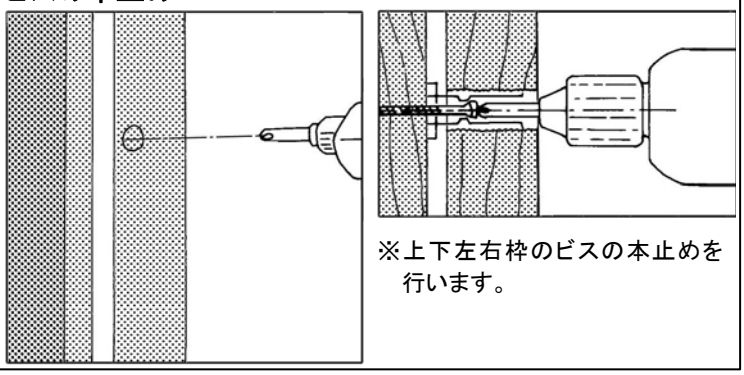


8.ビスの本止めとホールキャップの取付

●ビスの本止め、ホールキャップの取付、倒れ止め部材の取り外しを行います。

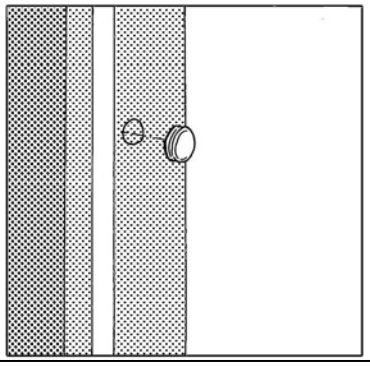


ビスの本止め



※上下左右枠のビスの本止めを行います。

ホールキャップの取付



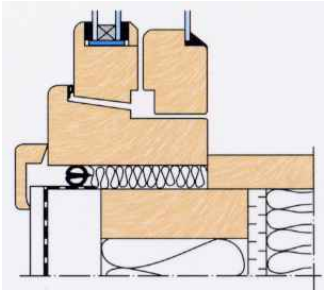
※ビスを本止め後、ホールキャップをフレームスクリュー穴に取付けます。

9.最終開閉確認、躯体と木製窓枠間の断熱処理～施工完了

●正しい施工が行われたことを確認して下さい。このとき、『取扱説明書(オーナー様向け)』にもとづき一通りの操作を行い、安全を確認して下さい。

●弊社取り扱いの気密パッキン「D2-Strip」をご使用の際には、下記の図のように内側から窓枠と躯体の隙間に押し込んでください。

図のようにヘラで隙間に押し込みます。



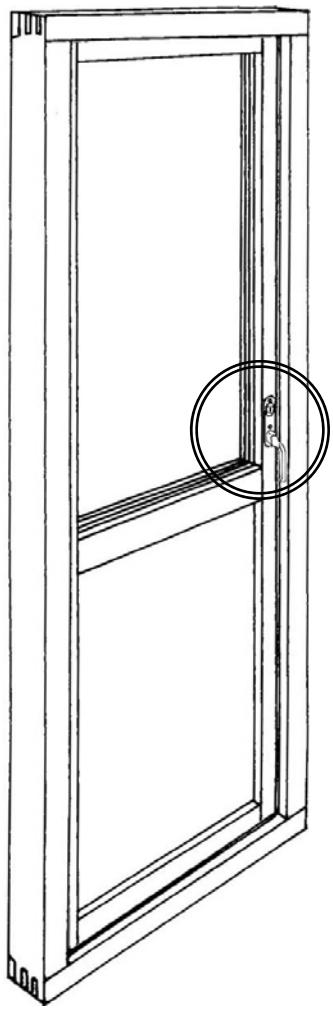
＊この収まり図はあくまでも参考です。

●なお、窓枠と躯体間の隙間の断熱処理にはグラスウールを使用します。発泡ウレタンなどは、施工後に枠のゆがみ等の調整やフレームがゆがむ恐れがありますので、使用しないで下さい。

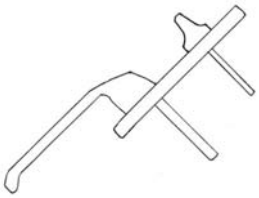
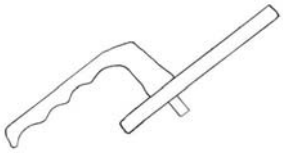
付属部品の確認

●本製品には、ドア本体以外に下図の付属部品が含まれております。

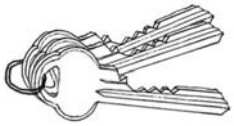
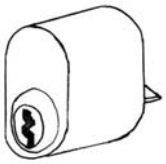
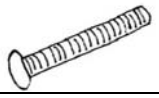
●施工にあたり、付属部品のご確認をお願い致します。



●取手用部品

●内側用取手(1 個) 
●外側用取手(1 個) 
●取手連結金具(1 個)
●取手用ビス(6 本)

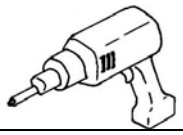
●シリンダー用部品

●鍵(3 枚) 
●シリンダー(1 個) 
●シリンダー受け金具(1 個)
●シリンダー用ビス(2 本) 

●ドア取付用部品

●ドア取付用ビス(8 本)
●ホールキャップ(8 個)

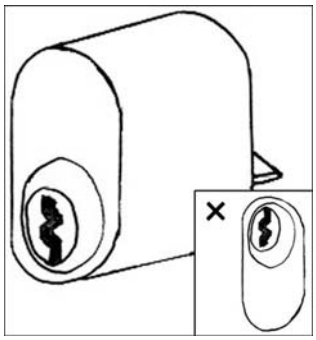
●必要工具

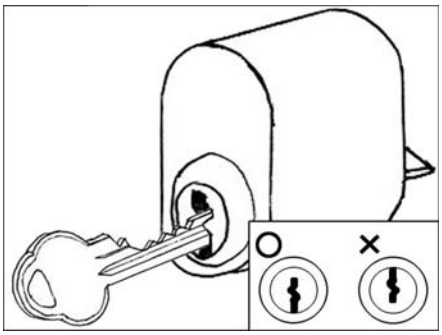
●電動ドライバー 

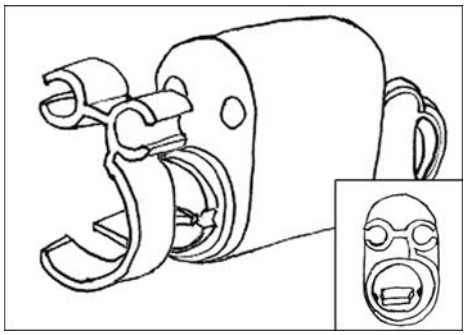
1.シリンダーの取り付け手順

●取手を取り付ける前にシリンダー部を取り付けます。鍵穴や受け金具の向きを間違えないようご注意下さい。

A.シリンダー部の準備





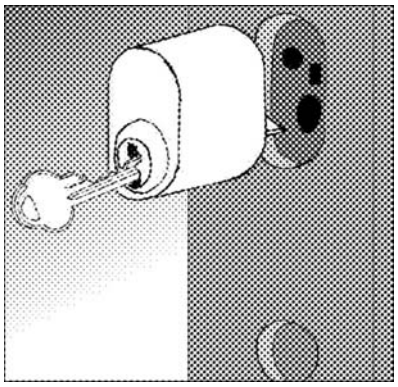


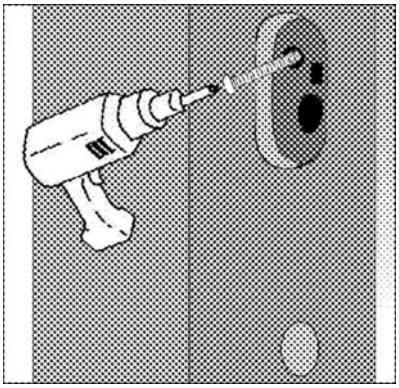
●取り付けるシリンダーが上左図のような向きであることをご確認下さい。

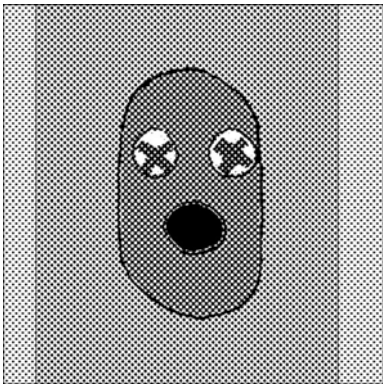
●鍵の抜き差しができる状態であることを必ずお確かめ下さい。鍵穴の向きが違うと抜き差しできません。

●シリンダー受け金具をはめ込みます。上右図の右下枠内のように固定されていることをご確認下さい。

B.ドアパネルへの取り付け







●ドアパネル外側にシリンダーをはめ込みます。

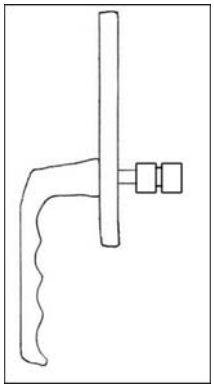
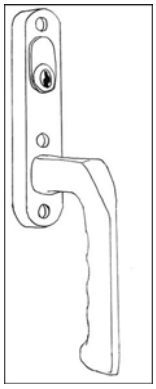
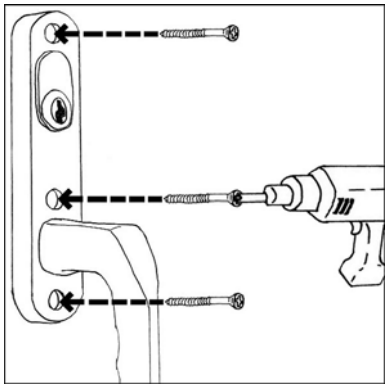
●シリンダー用ビス 2 本を使用し、パネル内側からシリンダーを固定します。

●ビス取り付け後は上右図のようになります。

2.取手の取り付け手順

●取手には外側用と内側用の 2 種類ございます。お間違えのないようご確認下さい。

A.外側用取手の取り付け

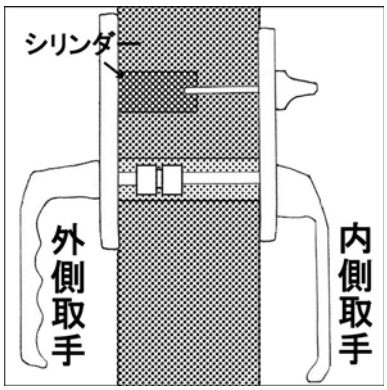




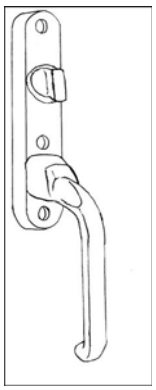
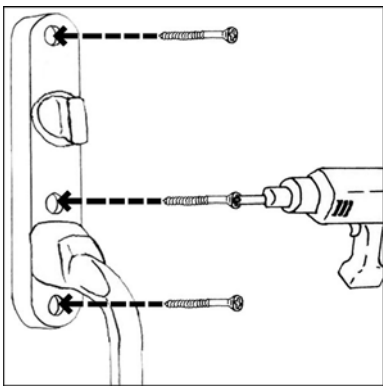
●まず、外側用取手の裏側へ出っ張った棒の先端に取手連結金具をはめ込みます。

●すでに取り付けてあるシリンダーの上から取っ手をかぶせます。この際、取手が下向きであることを必ずご確認下さい。

●取手取付用ビス 3 本を用いて、外側用取手をドアパネルに取り付けます。取手下部のビスは、取手を適宜回転させて締めて下さい。

B.内側用取手の取り付け



●ドアを閉め、ドアパネル内側に内側用取手をはめ込みます。この際、取手裏側の棒部分が外側取手に取り付けた連結金具にしっかりとはまることをご確認下さい。

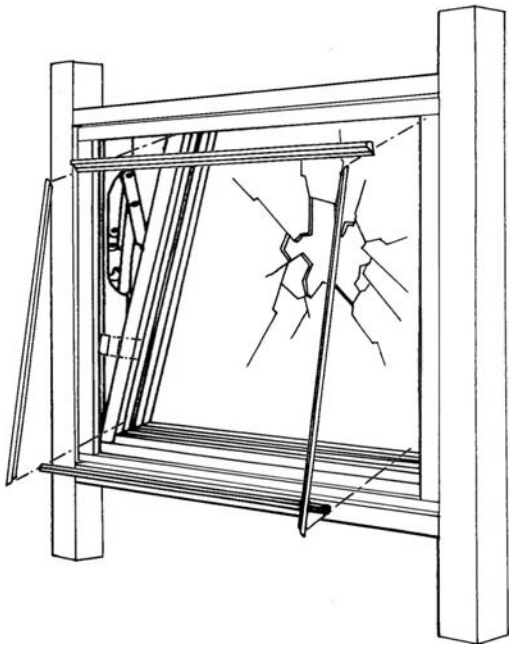
●ドアを閉めたまま取手を下向きにして、取手ロック状態にします。また、鍵ツマミは縦向きのフリー状態にしておいて下さい(上中図)。

●取手取付用ビス 3 本を用いて、内側用取手をドアパネルに取り付けます。取手下部のビスは、取手を適宜回転させて締めて下さい。

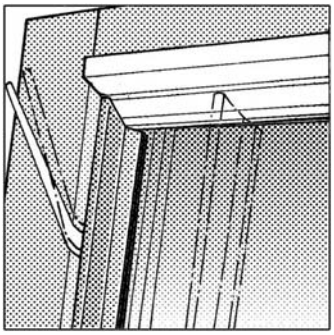
●ガラスが破損した場合、木製窓が壁に実装された状態でのガラスのみの交換が可能です。
●ガラスによる怪我を防ぐため、作業には必ず手袋を使用して下さい。
●欠け落ちそうなガラスを全て取り去ってから、安全に作業して下さい。
●窓サイズが大きいものは重量があるため、必ず2人以上で作業を行ってください。

1.木押縁･アルミ水切り材･パッキンの取り外し

●まず窓を回転させ、
チャイルドロックを掛けます。

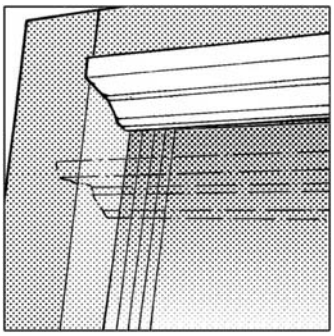


木押縁の取り外し



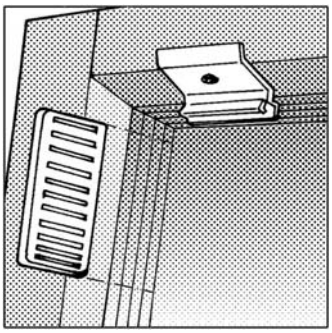
※木押縁をバール等で丁寧に取り外します。

アルミ水切り材の取り外し



※アルミ水切り材を取り外します。

パッキンの取り外し



※ガラス障子間のパッキンを取り外します。

2.ガラスの取り外し

●ガラスを取り外します。取り扱いには充分注意して下さい。

●新しいガラスの取付と組立は、本ページ記載作業を逆の手順で行います。

●木押縁の取付に使用する釘は、古い釘と同様の小さいもので充分ですが、釘穴の再使用はやめてください。

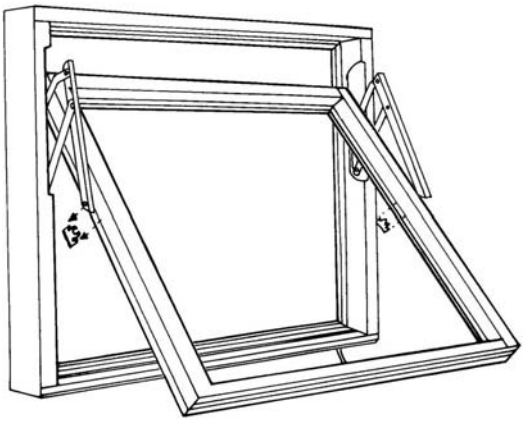
●ヒンジの軸止め金具を外せば、障子ごとの交換は可能です。ただしかなりの重量があり、かつ屋外側での脱着となり、2階以上の場合には足場が必要です。

●障子の交換に先立って前ページの要領でガラスを取り外し、障子枠だけにすることで室内から安全に作業することが可能になります。以下の説明は後者の方法で示します。

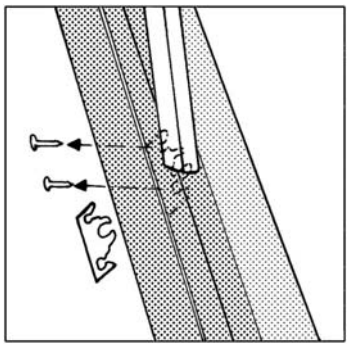
●窓サイズが大きいものは重量があるため、必ず2人以上で作業を行ってください。

1.ガラスの取り外し～窓回転軸部の金具･ヒンジの取り外し

ガラスを取り外します。(前ページ参照)

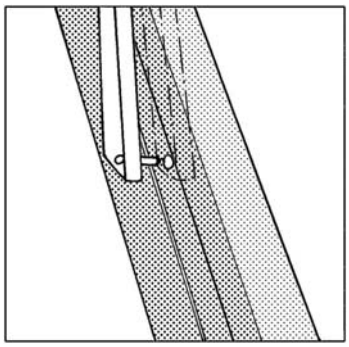


軸止め金具の取り外し



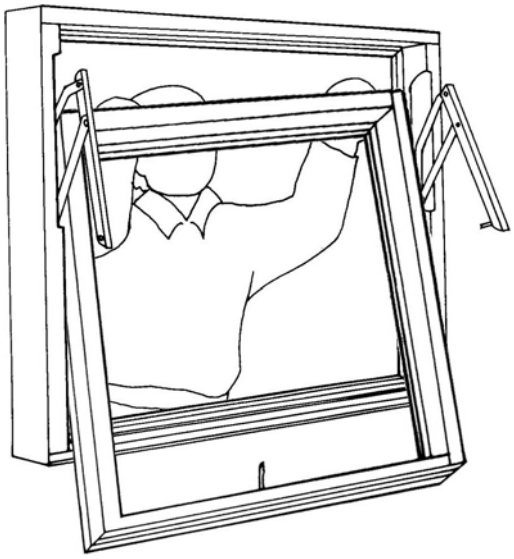
※障子の左右側面にビス止めしてある軸止め金具を取り外します。

ヒンジの押し広げ



※ヒンジを外側に押し広げると障子から外れます。
障子はまだ上部にあるスライド金物によってサッシ枠にはまっているので取り外せません。

2.障子の取り外し



●障子を図のように傾ければ外れます。

●新しい障子の取付も、ガラスを外して室内から行います。(本ページ記載作業と逆の手順です。但し、障子の交換後、正しい回転とロックが得られているかを確認してからガラスを取付けて下さい。)

プレイリーホームズ株式会社

Prairie Homes Inc.

愛知県名古屋市東区東大曽根町 29-11
TEL.052-930-7855　FAX.052-930-7856
長野県松本市笹賀 7116-1
TEL.0263-57-7685　FAX.0263-86-4461